

2015年度事業報告

2015年度（第5期）事業年度は、第4期の応募状況等を踏まえ、財団活動紹介及び募集告知活動を更に強化しました。日本呼吸器内視鏡学会でフランス人医師による来場者への顕彰論文募集活動紹介、また、募集の案内を、医学部長など組織の責任者だけでなく、それぞれの部門の責任者（呼吸器内科外科学、病理学、腫瘍学、放射線学、疫学の科長）宛に直接送付する事により、告知の範囲を広げました。その結果、応募者が昨年の18件より25件と増加し、歴代最多の応募数となりました。今後も同様の活動を継続すると共に財団の公益性をより伝えていきたいと考えております。

◇当初活動計画

4月初旬	2014年度（第3回）顕彰論文授賞者発表
5月27日（水）	2014年度（第3回）顕彰論文授賞式 (駐日フランス大使公邸にて)
6月11日（木）	日本呼吸器内視鏡学会にて、フランス人医師 Prof. Luc Thibervill 招聘による当財団の顕彰論文募集活動の広報実施
6月	2015年度論文募集広告掲載開始
7月	2015年度論文募集開始
9月末	2015年度論文募集締切
12月末までに	第1次選考実施とその結果報告 ※仏人委員は1名の追加選考を検討
1月~2月	第2次選考及びその決定
3月末	理事会にて最終決定（5月 授賞式予定）

I. 募集告知活動

5月27日（水）	2014年度顕彰者授賞式開催 フランス大使公邸 参加者70名 (開催前のメディアによる記者会見実施)
6月11日（金）	第38回日本呼吸器内視鏡学会学術集会にて、 フランス人医師 Prof. Luc Thibervill 氏による講演と当財団の顕彰論文募集活動の説明実施 (財団名表記/代表者挨拶、総会参加者に募集紹介パンフレット配布)
6月	ホームページに募集告知掲載
6月	UMIN（大学病院医療情報ネットワーク）及び関連学会HP・発行誌への募集告知掲載など（UMIN/日本肺癌学会/日本呼吸器学会/日本呼吸器外科学会、

日本呼吸器内視鏡学会、日本疫学学会／日本人工臓器学会／日仏医学会)

6月末 ダイレクトメール送付 80 大学医学部 (医学部長宛)
合計 944 通 448 大学医学部 (関連部門科長宛)
20 がんセンター (センター長宛)
92 がんセンター (関連部門科長宛)
293 がん連携病院 (病院長宛)
11 疫学関係者

9月30日(月) 応募締切 応募件数 25 篇 ('12年 16 篇、'13年 8 篇、'14年 18 篇)

10月23日(金)「日仏医学コロック」にて、理事長より財団の活動紹介を実施し、参加した特に日本人医学関係者に活動を告知

◇課題と対策

今年度は25篇とかなりの応募があった。過去応募者からは6篇(論文で4篇)あり、認知されている方からの応募多い。また、申請書の認知経路から、学会関連及び研究室へのDMによる案内が多い。今後も継続的に進める。

II. 選考活動

12月末 第1次選考通過者5名確定(第2次選考へ)

3月中旬 第2次選考確定

3月22日 理事会にて最終決定

「後藤喜代子・ポールブルダリ科学賞」 賞金 200 万円 竹内賢吾氏

「後藤喜代子・ポールブルダリ科学賞 特別賞」 賞金 150 万円 野尻崇氏

「後藤喜代子・ポールブルダリ科学賞 特別賞」 賞金 150 万円 藤田雄氏

5月 中旬 HPにて結果発表

III. 授賞式

2016年6月8日(水) 第4回授賞式をフランス大使館公邸にて実施予定

IV. 財団活動

第8回評議員会 2015年6月5日(金) みなし決議にて

第9回評議員会 2015年10月27日(火) みなし決議にて

第14回理事会 2015年5月12日(火) みなし決議にて

第15回理事会 2015年5月28日(木)

第16回理事会 2015年10月20日(火)

第17回理事会 2016年3月22日(火)

以上